



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス

コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤原 邦晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 友石 敏也

TEL 078-391-6571

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,477	△3.8	62	△70.0	108	△56.7	52	△66.1
25年3月期第2四半期	9,855	4.9	206	105.3	250	99.2	153	21.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 95百万円 (122.5%) 25年3月期第2四半期 43百万円 (△49.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.64	—
25年3月期第2四半期	13.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,422		14,161		76.9	
25年3月期	18,855		14,132		75.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,161百万円 25年3月期 14,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.1	520	3.5	600	5.4	375	45.3	33.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,200,000 株	25年3月期	11,200,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	494 株	25年3月期	494 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,199,506 株	25年3月期2Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、株式会社シィ・エイ・ティの子会社化やアウトソーシング業務の増加によりシステム運用管理業務が増加しましたが、システム構築業務及びシステム機器販売において金融機関向けが堅調に推移したものの自治体・一般法人向けが大きく減少したことから、売上高は9,477百万円と前年同四半期比377百万円（3.8%）の減収となりました。

また、損益面につきましても、減収の影響に加えて、研究開発・人材育成費用の増加などにより、営業利益は62百万円と前年同四半期比144百万円（70.0%）の減益、経常利益も108百万円と前年同四半期比142百万円（56.7%）の減益、四半期純利益も52百万円と前年同四半期比101百万円（66.1%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループを含む金融機関向けシステム構築業務及びシステム機器販売が堅調に推移したことを主因として、売上高は2,897百万円と前年同四半期比140百万円（5.1%）の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務が増加する一方で、自治体向けのシステム構築業務及びシステム機器販売が減少したことから、売上高は2,164百万円と前年同四半期比237百万円（9.9%）の減収となりました。

③ 産業関連部門

本年4月に子会社化した株式会社シィ・エイ・ティの売上高計上によりシステム運用管理業務が増加しましたが、システム構築業務及びシステム機器販売が減少した影響が大きく、売上高は4,416百万円と前年同四半期比280百万円（6.0%）の減収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比433百万円減少して18,422百万円に、純資産は前連結会計年度末比28百万円増加して14,161百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.9%増加して76.9%となっております。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比119百万円増加して6,428百万円となりました。その内訳は、営業活動によるキャッシュ・フローが475百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローが135百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが221百万円のマイナスであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月16日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っており、同資料に記載しております業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は、平成25年4月8日付で株式会社シィ・エイ・ティの発行済株式の全部を取得し、連結子会社としたことにより、連結子会社がケーシーエスデータ株式会社1社から2社に増加しております。

また、平成26年3月末を目処として、ケーシーエスデータ株式会社と株式会社シィ・エイ・ティを合併させる予定としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,008	3,128
受取手形及び売掛金	4,835	4,076
有価証券	3,300	3,300
商品	177	286
仕掛品	207	575
貯蔵品	15	33
その他	1,199	838
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	12,737	12,230
固定資産		
有形固定資産	3,472	3,532
無形固定資産	448	482
投資その他の資産		
投資有価証券	1,422	1,500
その他	821	711
貸倒引当金	△47	△34
投資その他の資産合計	2,196	2,176
固定資産合計	6,117	6,192
資産合計	18,855	18,422
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505	1,307
未払法人税等	66	71
賞与引当金	789	558
受注損失引当金	6	—
その他	961	830
流動負債合計	3,329	2,766
固定負債		
退職給付引当金	356	369
役員退職慰労引当金	95	93
その他	941	1,030
固定負債合計	1,393	1,494
負債合計	4,723	4,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,660	9,645
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,943	13,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	232
その他の包括利益累計額合計	188	232
純資産合計	14,132	14,161
負債純資産合計	18,855	18,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,855	9,477
売上原価	7,938	7,649
売上総利益	1,917	1,828
販売費及び一般管理費	1,710	1,766
営業利益	206	62
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	24	19
不動産賃貸料	31	32
助成金収入	10	16
雑収入	15	5
営業外収益合計	84	76
営業外費用		
支払利息	15	13
不動産賃貸費用	17	16
雑損失	7	0
営業外費用合計	40	29
経常利益	250	108
税金等調整前四半期純利益	250	108
法人税等	97	56
少数株主損益調整前四半期純利益	153	52
四半期純利益	153	52

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153	52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	43
その他の包括利益合計	△110	43
四半期包括利益	43	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43	95

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	250	108
減価償却費	336	325
のれん償却額	—	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△122	△231
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	5	△6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34	18
受取利息及び受取配当金	△27	△21
支払利息	15	13
固定資産除売却損益 (△は益)	2	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,478	826
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△480	△492
仕入債務の増減額 (△は減少)	△452	△214
その他	22	196
小計	1,059	522
利息及び配当金の受取額	26	21
利息の支払額	△15	△13
特別退職金の支払額	△36	△5
移転費用の支払額	△52	—
法人税等の支払額	△25	△52
法人税等の還付額	41	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	998	475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86	△36
無形固定資産の取得による支出	△77	△16
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△152
その他の支出	△101	△97
その他の収入	21	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△156	△154
配当金の支払額	△67	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224	△221
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	527	119
現金及び現金同等物の期首残高	5,806	6,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,334	6,428

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,756	2,402	4,696	9,855	—	9,855	—	9,855
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	5	366	373	—	373	△373	—
計	2,758	2,408	5,063	10,229	—	10,229	△373	9,855
セグメント利益	512	170	468	1,151	—	1,151	△944	206

(注) 1 セグメント利益の調整額△944百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,897	2,164	4,416	9,477	—	9,477	—	9,477
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	11	318	335	—	335	△335	—
計	2,902	2,176	4,734	9,813	—	9,813	△335	9,477
セグメント利益	500	220	357	1,078	—	1,078	△1,016	62

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,016百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用及びのれんの償却額等
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。